

広 告

ネットワークカメラ 現場見守る君

現場訪問回数が減少、 1日2時間の余裕を生み出す

吉田東光の「現場見守る君」は、ネット工事不要
建築現場に設置できるネットワークカメラ。
レンタルで利用でき、遠隔地からでも建築現場の
状況を確認することが可能になる。

電源を確保するだけで
遠隔地から現場の
状況を確認

「現場見守る君」は、SIMを
搭載したネットワークカメラ。電
源を確保できればどこにでも設置
できる。通信環境がない場所でも
ネットワークに接続でき、単管・
ポールにも簡単に取り付け可能と
いう特徴も備える。

カメラで撮影した映像は、専用の
アプリを使ってスマートフォンや
タブレットなどで確認でき、遠隔
地から建築現場の状況をリアルタ
イムに確認可能だ。

遠隔からカメラを動かすこともで
き、左右は180度、垂直方向に
は下方向に90度まで動かせる。

赤外線暗視機能により夜間撮影
にも対応するほか、録画機能だけ
でなく最大7日間、1日720枚
の静止画をサーバに保存し、後か
らダウンロードするといった機能
もある。

吉田東光では、このネットワー
クカメラをレンタルで建築現場な
どに貸し出しており、採用実績は
右肩上がりであり伸びてきているとい
う。

建築現場に設置することで、現
場に行くことなく、工事の進捗状
況をはじめ、工事業者や資材の出
入りの確認、協力事業者の入退場
時間の確認、安全管理、美化確認
なども行えると、ユーザーからの
評価も高い。

1日4回の現場訪問が
2回に半減

「現場見守る君」を採用してい
るある中堅ゼネコンの例では、現
場管理者の業務負担を大幅に削減
することに成功したという。

建設現場の敷地内に仮設の事務
所などを設置することができない
場合、現場管理者は毎日現場に足
を運ぶことになる。その中堅ゼネ
コンでは平均すると1日4回も管
理者が現場に行っていた。移動時
間まで含めると、1回当たり1時
間ほどの時間が必要になるケース
もあり、4回訪問すると1日4時
間もその時間を要する計算にな
る。

そこで「現場見守る君」を建築
現場に設置し、現場管理者の業務
負担の削減に着手。その結果、平
均すると現場訪問回数が1日2回
に減ったそうだ。移動時間に1時
間を使うと考えると、2時間もの
時間的な余裕を生み出すこともあ
り得る。





本文転載元/Housing Tribune様

動画によってリアルタイムに現場の状況を遠隔地から確認できる「現場見守る君」。文字通り、現場を見守る目として、現場管理だけでなく、スポット的に活用した場所に効果を発揮することになりそうだ。

さらに「最近では現場だけでなく、農作物の収穫期やイベントの設営時、さらには河川の監視など自治体の問い合わせも多くなってきております。」(同社市場開発室)とこう。

また、戸建住宅の現場の場合、毎日、何度も現場管理者が現場に行くということはないが、現場の進捗状況をリアルに確認するために採用されることも多い。

吉田東光によると、台風や強風時などに建築現場のシートの状況などを遠隔地で確認できるといったメリットのほか、防犯対策として活用するケースもある。



かんたん + あんしん + べんり

現場見守る君®

SIM内蔵のネットワークカメラであらゆるシーンの見守りに

現場見守る君は、ネットワークカメラとモバイル通信機器を一体化させた、防犯/監視カメラです。

用途・特徴

カメラ1台で使い方無限大! 導入現場続々増えてます!!

PC・スマホなどでライブ映像の確認

赤外線暗視機能暗闇・夜間OK

SDカード内蔵録画機能付き

クラウドサーバーに静止画を保存

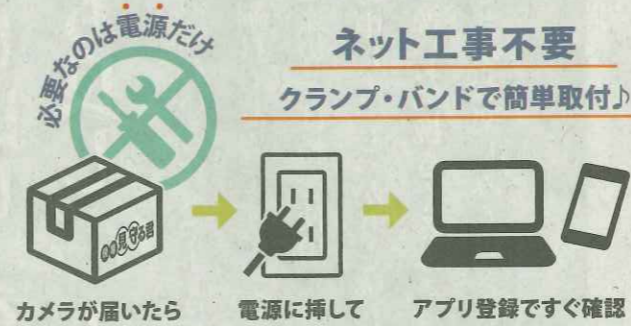
現場管理
SEISOU SEITON
5S
SEI KETSU SEIRI SHITSUKE

防犯対策

天候確認

アナタはら どう使う?

使用方法



料金体系